

欧州発の主権AI「Kolibri」徹底解剖：技術特徴と日本企業への戦略的示唆

ドイツのAleph Alpha社が開発した「Kolibri」は、78.1Bの巨大容量を持ちながら3.46Bのアクティブパラメータで高速動作する、英独特化型の主権AI（Sovereign AI）モデルです。日本語の直接対応は含まれないものの、高い透明性、オンプレミス運用性、コスト効率の高さから、国産AI開発や企業のAIガバナンス設計の重要なベンチマークとなります。

Kolibriの技術的特徴と「主権AI」モデル



透明性とデータ管理を重視した「主権AI」の実装



 **重み公開**
(Apache 2.0)



詳細な学習データ来歴
と高い監査可能性



独・英文書および産業RAG業務に特化

独自UniBPEによるドイツ語効率化と、
製造・自動車・航空宇宙等のRAGで高い性能を発揮



日本企業における活用法と戦略的示唆



EU拠点で活用

日本語未評価のため、日系企業の欧州現法
における英独文書処理・RAGが最適用途

言語と用途に応じた 「モデル・ルーティング」



国内業務は
日本語特化モデル



EU拠点の
機密データにはKolibri



国産AI開発・調達における ガバナンスの指標

単なるモデル所有にとどまらず、データ来歴
や運用統制まで一体管理する手本となる